

施策分析シート（令和7年度）

No1

施策名	伝統的文化の保存と継承	施策No	09-03	部課名	地域文化スポーツ部生涯学習課
関連部課名		課長名	篠原	内線	1782

行政評価 事業体系	分野	V	文化創造都市
	政策	09	伝統文化の継承と都市間交流の推進

目的	区に伝わる有形・無形の文化財を、区民全体の財産として保存・継承するとともに、そのすばらしさを広く内外に周知し、未来へと伝える。
----	---

指	幸福実感指標名		指標の推移			指標に関する質問文		
			4年度	5年度	6年度			
	①	地域への愛着度	2. 87	2. 89	2. 89	荒川区の文化や特色に愛着や誇りを感じますか？		
	②							
	③							
④								
標	施策の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			4年度	5年度	6年度	7年度 見込み		
	①	ふるさと文化館利用者数（人）	16, 040	17, 122	11, 199	14, 000	16, 000	展示室観覧者＋伝統工芸ギャラリー。 令和8年に改修予定
	②	「伝統技術展」満足度（％）	80	80	80	85	100	令和2, 3年度は中止
	③	「伝統技術展」参加職人数 （人）	51	53	52	54	66	令和2, 3年度は中止
	④	学校職人教室実施学校数（校）	23	22	24	24	24	全校で実施している
	⑤							

（単位：千円）

行政コスト計算書	勘定科目		5年度	6年度	差額	行政収入	勘定科目		5年度	6年度	差額
	行政費用	給与関係費	57,928	69,176	11,248		地方税等	0	0	0	
		物件費	75,265	83,870	8,605		国庫支出金	2,806	3,025	219	
		維持補修費	1,146	1,108	▲ 38		都支支出金	1,403	1,513	110	
		扶助費	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0	
		補助費等	9,508	9,034	▲ 474		使用料及び手数料	339	332	▲ 7	
		減価償却費	40,818	41,000	182		その他	356	474	118	
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0		行政収入合計(a)	4,904	5,344	440	
		賞与・退職給与引当金繰入額	4,761	4,812	51		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 184,522	▲ 203,656	▲ 19,134	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)		0	0	0		
行政費用合計(b)	189,426	209,000	19,574	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 184,522	▲ 203,656	▲ 19,134				
特別費用(g)	69	0	▲ 69	特別収入(f)	69	0	▲ 69				
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 184,522	▲ 203,656	▲ 19,134				
貸借対照表	勘定科目		5年度	6年度	差額	勘定科目		5年度	6年度	差額	
	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債		1,574	1,952	378	
		不納欠損引当金	0	0	0		還付未済金	0	0	0	
		その他の流動資産	0	0	0		特別区債	0	0	0	
		有形固定資産	450,107	409,378	▲ 40,729		賞与引当金	1,574	1,952	378	
	固定資産	土地	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0		
		建物	1,497,414	1,497,414	0	固定負債		11,865	11,827	▲ 38	
		建物減価償却累計額	▲ 1,047,307	▲ 1,088,036	▲ 40,729		特別区債	0	0	0	
		工作物等	0	0	0		退職給与引当金	11,865	11,827	▲ 38	
		工作物等減価償却累計額	0	0	0		その他の固定負債	0	0	0	
		無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	13,439	13,779	340		
		建設仮勘定	3,740	20,416	16,676	正味財産	694,091	672,695	▲ 21,396		
		その他の固定資産	253,683	256,680	2,997	正味財産の部合計	694,091	672,695	▲ 21,396		
		資産の部合計	707,530	686,474	▲ 21,056	負債及び正味財産の部合計	707,530	686,474	▲ 21,056		

財務諸表に関する特徴的事項等

○行政費用については、例年物件費の割合が高くなっている。主に、建物維持業務や光熱水費のほか、事業にかかる委託料等が占めている。

○行政収入では国庫支出金及び都支出金がある他、使用料及び手数料としてふるさと文化館観覧料等、その他収入として有償頒布物代金がある。

○貸借対照表に計上されている有形固定資産は「ふるさと文化館」に関するものであり、建設仮勘定の増は、大規模改修にかかる費用（基本設計等）によるものである。

施策の現状・課題・今後の方向性

現状	○区では条例に基づき文化財の登録・指定を行い、文化財の保存・継承に努めている。特に、江戸時代から引き継がれてきた伝統工芸技術においては、多くの無形文化財（工芸技術）の保持者がいる。荒川ふるさと文化館では、区の歴史や文化財を紹介する企画展や館蔵資料展の実施、また単一自治体としては日本最大規模の「あらかわの伝統技術展」を開催し、伝統工芸技術の魅力を内外に発信している。 こうした伝統工芸技術に気軽に触れられる場として、無料の常設展示施設「あらかわ伝統工芸ギャラリー」を平成29年5月に開設し、年に3回の展示替えを行っている。 ○職人や工芸技術の情報をホームページやYouTubeに掲載し、内外に発信している。 ○子どもたちに対しては、伝統工芸技術を体験できる「あらかわ職人道場」や、職人を学校に派遣し、技術の実演・解説・体験学習等を行う「あらかわ学校職人教室」を実施している。 ○伝統工芸技術の継承者育成を目的として、研修手当や材料費を助成する「伝統工芸技術継承者育成支援事業（荒川の匠育成事業）」を実施しているほか、修了者等の作品展など、若手職人の周知・PRのための支援を行っている。
課題	○伝統工芸技術や伝統工芸品の素晴らしさを多くの方々に知ってもらい、また、実際に使用して良さを感じてもらえるよう、伝統工芸技術保存会との協働により、「あらかわ伝統工芸ギャラリー」のリニューアルに向けて更なる活用を考える必要がある。 ○区の伝統工芸技術や文化財の素晴らしさを区内外に広く浸透させるとともに、直接体験できる機会を提供する一方、あわせて、ホームページやYouTubeなどを活用したPRを充実していくことが重要である。 ○子どもたちに対して、貴重な直接体験の機会を途絶えさせないようにする必要がある。 ○伝統工芸技術の修得には長い年月を要するため、伝統工芸技術者自身のたゆまぬ技術の向上・研鑽のための支援と併せ、研修中はもちろん、研修後においても長期間にわたり後継者をサポートすることが必要である。
今後の方向性	○「あらかわ伝統工芸ギャラリー」のリニューアル改修により、伝統工芸技術の実演や体験、伝統工芸品の展示を充実させる他、伝統工芸品が購入できるミュージアムショップを開設し、荒川区の伝統工芸の魅力を広く発信していく。映像やホームページなどを活用したPRを継続しながら直接、伝統工芸を体験できる機会を提供する。 ○伝統工芸技術保持者の紹介などもホームページやSNS等を活用して積極的にPRしていく。 ○次代を担う子どもたちをはじめ区に住む人々が、伝統文化に対する理解を深め、区の文化財等を通じて郷土への愛着と誇りを持つことができるよう、荒川ふるさと文化館の展示室や奥の細道コーナーをリニューアル改修により更に充実させる。 ○伝統工芸技術を未来に継承するため、伝統工芸に興味・関心があり、職人となる希望を持つ若者に対して、見習いとしての現場実習から本格的な修業、作品展の開催に至るまで、ステップに合わせた支援を継続して行う。

施策の分類		分類についての説明・意見等
7年度	8年度	
重点的に推進	重点的に推進	区における文化財、史跡、伝統工芸技術の保存・継承において重要であり、引き続き重点的に推進する。

施策を構成する事務事業の分類								
事務事業名	事務事業 No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		5年度	6年度	5年度	6年度	7年度	8年度	
荒川ふるさと文化館管理運営費	05-02-19	121,782	137,636	76,354	99,377	重点的に推進	重点的に推進	区の歴史・文化を学び、親しむための拠点施設の運営に関する事業である。大規模改修に向けて重点的に推進する。
荒川ふるさと文化館事業推進費	05-02-20	9,480	8,417	3,280	4,056	継続	継続	区民が郷土の歴史や文化に親しみ、知識を深めるために必要な事業であるため、今後も講座・展示等を継続して実施する。
文化財保護奨励費	05-02-21	22,422	24,815	14,008	16,967	重点的に推進	重点的に推進	区の貴重な有形・無形文化財を次代に伝えとともに、区の文化資源として活用する事業であるため、重点的に推進する。
江戸伝統技術	05-02-22	35,742	38,132	32,496	33,805	重点的に推進	重点的に推進	江戸時代から受け継がれてきた荒川区の伝統工芸技術とその保持者を、地域の文化遺産として保存・継承・活用するための事業であり、重点的に推進していく。
合 計		189,426	209,000	126,138	154,205			